

令和2年度第3四半期における公益法人等への会費支出の状況

	交付先法人名称	名目・趣旨	交付額 (単位:円)	支出先法人が定める会費 一口当たりの金額、もしくは 最低限の金額 (単位:円)	交付日等 (支出決定日)	支出の理由等	公益法人の場合	
							公益法人の区分	国所管、都道府 県所管の区分
1	公益社団法人 日本工学教育協会	団体学校団 体会員	910,000	一口70,000	10月2,9,13,23日 11月5,6,13日 12月1,2,4,9日	研究及び工学教育に係る最新動向の調査 及び意見交換を行うため。また、企業との繋 がりや連携が密にとれ、教育や人材育成に ついての企業の考えやニーズを知ることが でき、学生の就職に関して、企業の良質な就 職・採用情報が入手できるため。協会として 学校を単位とした加入をルールとしているた め、法人として複数口の支出を行っている。	公社	国所管
		北海道地区 工学教育協 会団体会員 会費	10,000	一口10,000	10月23日			
		東北地区工 学教育協 会団体会員 会費	150,000	一口30,000	12月1,2,4,9日			
		東海地区工 学教育協 会団体会員 会費	20,000	一口10,000	10月2,9日			
2	一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会	賛助会員会 費	104,765	一口102,860 (増税後)104,765	10月23日	会員となることにより、一般財団法人国際ビ ジネスコミュニケーション協会が実施する資 格試験の受験料が値引きとなり、非会員価 格で受験する際に支払う総額よりも、受験料 と会費の総額のほうが安価であり、経済的 利益が確保できるため。協会として学校を単 位とした加入をルールとしているため、法人 として複数口の支出を行っている。	-	-
3	一般社団法人 北海道中小企業家同友会	会費	60,000	5,000 (月額)	10月7,9日	地域社会貢献事業の推進強化に資するた めに関連情報を得る必要があり、当該情報 は本会会員にならなければ収集が困難であ るため。企業や他大学の持つシーズの紹介 や事業の成果報告等が行われる月例会で の交流は、受託研究をはじめとした産学連 携活動の推進に有効である。また、本会が 主催する合同企業説明会に係る情報を速や かに学生に提供することができ、就職活動・ 指導をより幅広く行うことができる。	-	-
合計			1,254,765					

※公益法人の区分欄の「特社」は特例社団法人を、「公社」は公益社団法人を、「公財」は公益財団法人をそれぞれ表す。